

伊勢原市第5次総合計画 後期基本計画 施策評価委員会
【第1分科会 第2回会議】 会議録

〔日 時〕 令和2年12月22日(火)午後1時30分～午後4時30分

〔場 所〕 伊勢原市役所 3階 議会全員協議会室

〔出席者〕

〈委員〉

妻 鹿 ふみ子
田 中 麻由美
山 川 勝 久
宮 崎 清
能 條 芳 夫

〈関係部職員〉

黒石 保健福祉部長
齋藤 子ども部長
細野 健康づくり担当部長
高橋 健康づくり課長
宮川 保険年金課長
鎮目 障がい福祉課長
古清水 福祉総務課長
佐伯 高齢者支援担当課長
池田 子育て支援課長
岡村 子ども家庭相談課長

〈事務局〉

成田 経営企画課長
瀬尾 経営企画課係長
成澤 経営企画課主任主事
吉川 経営企画課主事

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者〕 なし

〔内 容〕

- 1 開会 事務局
- 2 あいさつ 妻鹿委員長（第1分科会座長）
- 3 議題
 - (1) 分科会の進め方について 事務局より説明
 - (2) 施策の評価について ※ 意見、評価は別紙のとおり
施策01：こころと体の健康づくりの推進
施策02：安心できる地域医療体制の充実
施策03：多様な連携による地域福祉の推進
施策04：高齢者の地域生活支援の充実
施策05：障がい者の地域生活支援の充実
施策06：子育て家庭への支援の充実
 - (3) 次回評価の施策について 事務局より説明
- 4 閉会 事務局

施策		1：こころと体の健康づくりの推進					
評価項目	評価結果 (1つに○)	各委員の評価結果					分科会の評価
		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	
① 主な指標の達成状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C 遅れている	B	B	B	B	B	B
② 事業の構成に関する評価	A 適切な構成である B 概ね妥当である C 構成に問題がある	B	B	B	B	B	B
③ 市民意識の反映	A 反映されている B 概ね反映されている C 反映できていない	B	B	B	B	B	B
④ 施策推進上の課題の捉え方	A 課題の捉え方が的確である B 課題の捉え方に一部不足が見られる C 課題認識ができていない	A	A	A	B	A	A
⑤ 施策の方向性	A 拡大して実施 B 継続実施 C 縮小して実施 D 抜本的見直し	B	B	B	B	B	B

施策に対する総合的な評価	<p>心身ともに市民が健康に暮らせることを支援する本施策は必要不可欠なものであるが、その事業構成、今後の方向性については妥当であり継続がのぞまれるため「おおむね順調、妥当」と判断した。</p> <p>全体的な施策の指標の達成状況、市民意識の反映については、一部指標の実績値が低下していることや検診の未受診率がアップしていないことを踏まえ、こちらも「おおむね」とした。</p> <p>施策推進上の課題の捉え方は的確である。</p>	<p>事業の内容は施策にそって順調に進められていると思う。</p> <p>がん検診の受診率が伸び悩み一どの年代にもっと受診して欲しいのか？</p> <p>心のサポーター養成研修修了者はどのような活動をしているのか？</p> <p>実際の活動状況は？</p>	<p>1. 自殺者については、全国的には減少傾向にあるものの、2017年に若年層（10～14歳）における自殺が同年代の死因の第1位となっている。</p> <p>また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、自殺者も増加傾向にある。</p> <p>今後は「SOSのサインに気づく支援者を増やす」とともに「SOSの出し方に関する啓発や教育」も視野に入れての自殺予防対策を期待している。</p> <p>2. 健康・食育に関する教育・相談への参加数の増加は、市民の健康への意識の高まりを示すものとして評価できる。</p> <p>今後は、市民の要望も考慮しながら、がん検診の受診率を上げるような取り組みを期待している。</p>	<p>①相対的に達成に向けて順調であるが、がん検診受診率の伸びが低調であることからBとした。</p> <p>②保険指導利用者を増やし生活習慣病改善に有効な取組手法であるが目標達成に至らずBとした。</p> <p>③満足度・重要度ともに上昇したが上昇値が少ないためBとした。</p> <p>④課題の捉え方は的確であるが、「周知」「実施方法」の具体策がなくBとした。</p> <p>⑤当施策「こころと体の健康づくり」は重要であり、拡大しての実施も考えられるが、新型コロナウイルス感染拡大中であり、市民の生活様式・意識の変化がどのようになるか流動的であることから施策の拡大内容も定まらない状況下にあるためBとした。</p> <p>○「自殺」について、予防策等推進していることが外部評価担当として認識を新たにした。</p> <p>次期施策にありますが、「多角的な普及啓発」のため市民へ伝えていただきたい。また、「こころの相談窓口」の設置、「傾聴」の活用等の検討を望む。</p>	<p>若い世代から高齢者までの市民が健康に暮らしていくために必要と考えられる身体と心の健康づくりの取組みを主な事業として企画し実践されている。</p> <p>一人一人の市民が健康づくりを意識し進められるように取組んでいる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大があるためか、最近、自殺者が増加しているとの情報があるので、こころの健康づくり推進事業等で新たな手立てを考える必要が出てくる可能性もある。</p>
---------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策		2：安心できる地域医療体制の充実					
評価項目	評価結果 (1つに○)	各委員の評価結果					分科会の評価
		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	
① 主な指標の達成状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C 遅れている	A	B	A	A	A	A
② 事業の構成に関する評価	A 適切な構成である B 概ね妥当である C 構成に問題がある	C	B	B	B	B	B
③ 市民意識の反映	A 反映されている B 概ね反映されている C 反映できていない	B	C	C	B	B	B
④ 施策推進上の課題の捉え方	A 課題の捉え方が的確である B 課題の捉え方に一部不足が見られる C 課題認識ができていない	B	A	B	A	A	A
⑤ 施策の方向性	A 拡大して実施 B 継続実施 C 縮小して実施 D 抜本的見直し	B	B	B	B	B	B
施策に対する総合的な評価	<p>指標の達成状況を見れば、達成できていると判断できるが、医療機関に恵まれていることだけで、安心できる地域医療体制と判断することについてはやや懸念される。</p> <p>高度医療機関の機能と、地域医療を行う医療機関との棲み分けが今後ますますなされることを考えると、在宅診療や看取りを行う医療機関現状把握なども必要ではないか。</p> <p>事業構成については、救急医療体制とかかりつけ医という2つの事業だけで本施策を構成することについては次期計画に向けて検討が必要ではないか。</p> <p>市民の満足度が低下していることも懸念材料である。</p>	<p>事業の内容は施策の目的に沿って順調に進められていると思う。</p> <p>コロナの状況により病院に行くのをためらってしまう人が多い。</p> <p>かかりつけ医は市民皆がいるわけではない。</p> <p>かかりつけ医の重要性がアピール不足なのでは？</p>	<p>①かかりつけ医のさらなる普及と定着については、関係医療機関との連携を具体的にどのように働きかけ、どう推進していくのか、この内部評価では少し分かりにくいと感じた。</p> <p>②救急医療体制については、高く評価できる。今後もこの体制を維持・継続していただきたい。</p>	<p>①「救急医療」の実施率は維持されており、「かかりつけ医」の達成状況は増加しつつあるところからAとした。</p> <p>②「かかりつけ医」について、普及啓発方法につきもう一押し之感がありBとした。</p> <p>③内部評価では、満足度が低下しているところからCとしているが、相關図では満足度・重要度ともに高い位置にあるためBとした。</p> <p>④施策の目的が「救急医療」「かかりつけ医」と課題が分かり易いことから、課題の捉え方も的確にとらえておりAとした。</p> <p>⑤伊勢原市は、市民自身が必要な時に必要な方法で必要な医療を受診出来る環境は十分でこれを継続すべくBとした。</p>	<p>健康面に不安が生じた時、安心して医療が受けられるのは医療体制がしっかり築かれているからと思われる。</p> <p>かかりつけ医については、新型コロナウイルス感染症増加に伴いその重要性がでてきた。</p> <p>かかりつけ医の内容を果たす役割、市民のもつ不安と通院のしやすさ等から市民自らが選択していくことの大切さを情報提供していくことが求められる。</p>		

施策		3：多様な連携による地域福祉の推進					
評価項目	評価結果 (1つに○)	各委員の評価結果					分科会の評価
		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	
① 主な指標の達成状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C 遅れている	C	B	B	B	B	B
② 事業の構成に関する評価	A 適切な構成である B 概ね妥当である C 構成に問題がある	C	B	B	B	B	B
③ 市民意識の反映	A 反映されている B 概ね反映されている C 反映できていない	B	C	C	B	B	B
④ 施策推進上の課題の捉え方	A 課題の捉え方が的確である B 課題の捉え方に一部不足が見られる C 課題認識ができていない	B	B	A	A	A	A
⑤ 施策の方向性	A 拡大して実施 B 継続実施 C 縮小して実施 D 抜本的見直し	A	B	B	B	B	B
施策に対する総合的な評価	<p>「多様な連携」「事業者との連携」との記載を実際に進めるような事業構成になっておらず、福祉ボランティアの人数と後見人バンクへの登録人数だけで指標をはかっている点が課題としてあげられる。</p> <p>少子高齢化やつながりの希薄化という課題は的確に捉えられており、この点を踏まえて多様な市民や事業者を巻き込んだ「共助」の体制を作っていくことが求められる。</p> <p>市民からの期待は高いが市民自身が顧客として期待するだけでは本施策は成立しないので、市民を巻き込んでいるのかどうかを問うことも必要ではないか。</p> <p>事業構成、指標の設定など次期計画に向けての検討が求められる。</p>	<p>事業の内容は施策の目的にそって前向きに進められていると思う。</p> <p>福祉ボランティアとは具体的にどんなことをしているのか？</p> <p>近所づきあいが少なくなった世の中で自分から困っていると言えない人がどこの誰に相談したらいいのかわからないのでは？</p> <p>民生委員の方々も活躍されているが、第2の民生委員のような方も必要なのではないでしょうか？</p>	<p>①自治会への共助の考え方についての啓発活動や、地域福祉の推進に関する講座等への受講者の増加については、高く評価できると思う。</p> <p>②市民後見人バンクへの登録者数の伸び悩みについては、今後の効果的な養成講座の実施に期待したい。</p>	<p>①特に、福祉ボランティア人数について、令和元年は増加しているが、令和2年以降見込は減少し達成状況に不安はあるが、現況の新型コロナウイルス感染もあると考えBとした。</p> <p>②自治会定例会への職員派遣（社協を含む）が有効な啓発活動であると考えるが、市民後見人制度において事業の構成に適しているが、登録人員が少人数のためBとした。</p> <p>③市民意識の反映率は僅かな減少であるが、現状維持に近いためBとした。</p> <p>④「市民ひとり一人が地域の支え手・・・」である点については的確であるためAとしたが、現在核家族であり、自分本位の人々が増加しているため、いわゆる「ボランティア精神」とは遠いことを念頭に啓蒙啓発に努める必要がある。</p> <p>⑤「地域共生社会の実現」に向けるためには、前記の世相の中で施策を進める必要があると考え拡大実施ではなくBとした。</p>	<p>自治会活動で災害が予想される時に見守り、支え合いの活動が想定準備されていることから、地域で共助していく面が見られる。</p> <p>ただ、少子高齢化の進展や地域のつながりの希薄化に加え、住む人の増減や生活場面の多様化から地域福祉の良さを理解したり体験したりする機会を設定、実施していくことを継続することが大事である。</p>		

施策		4：高齢者の地域生活支援の充実					
評価項目	評価結果 (1つに○)	各委員の評価結果					分科会の評価
		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	
① 主な指標の達成状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C 遅れている	B	B	B	B	B	B
② 事業の構成に関する評価	A 適切な構成である B 概ね妥当である C 構成に問題がある	B	B	A	A	A	A
③ 市民意識の反映	A 反映されている B 概ね反映されている C 反映できていない	B	B	B	B	B	B
④ 施策推進上の課題の捉え方	A 課題の捉え方が的確である B 課題の捉え方に一部不足が見られる C 課題認識ができていない	B	A	A	A	A	A
⑤ 施策の方向性	A 拡大して実施 B 継続実施 C 縮小して実施 D 抜本的見直し	A	A	A	B	B	A
施策に対する総合的な評価	<p>設定された指標については、その達成がおおむね順調と言える。</p> <p>市民の満足度・重要度についてもおおむね評価できる。</p> <p>地域包括ケアシステムについては、センターの設置と事業推進だけで達成できるものではないので、システムを構築し、地域に支え合いのしくみを作ることや、相談機能を充実させることが必要であり、施策の中身を充実させる必要があると思われる。</p>	<p>事業の内容は施策の目的に沿って順調に進められていると思う。</p> <p>高齢者の方々がひきこもりにならずに参加しやすい優しい取り組みをお願いしたいです。</p>	<p>①介護予防教室への参加者数の大幅な増加は、実施回数を増やすなどの取組みの成果と認めらる。</p> <p>②今後、さらに市民の高齢化は進み、本事業への市民の関心とその期待は益々高まっていくと考えられる。</p> <p>施策の方向性としては、さらなる推進を望む。</p>	<p>①介護認定率は0.2%と微増であり、在宅サービス利用割合は4.9%と増加していることからBとした。</p> <p>②介護予防の観点として、高齢者の地域支援のため各地域のミニデイサロン、ダイヤピック、包括支援センターの介護予防教室に取り組みなど、目的達成に向け適切でありAとした。</p> <p>③特に、相関図が示すとおり、満足度・重要度ともに普通の状態を維持しBとした。</p> <p>④健康維持の推進、医療の充実等々により高齢者は激増し、少子高齢化は最大課題である。その中において新型コロナ感染拡大と予期できない状態で課題を的確に捉えAとした。</p> <p>⑤現在、前期のとおりの未曾有の状況において拡大実施が望めずBとした。</p>	<p>高齢者でも就労したり、家庭で仕事をしたり、また、ボランティアに参加されたりと元気に活動される姿がよく見られる。</p> <p>新型コロナ感染症等の病気への注意や、健康に生活するために心がけることや注意することを知ったり体験できたりする取組みをしっかりと続けて欲しい。</p>		

施策		5：障がい者の地域生活支援の充実						
評価項目	評価結果 (1つに○)	各委員の評価結果					分科会の評価	
		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5		
① 主な指標の達成状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C 遅れている	B	B	A	A	B	A	
② 事業の構成に関する評価	A 適切な構成である B 概ね妥当である C 構成に問題がある	B	B	A	A	A	A	
③ 市民意識の反映	A 反映されている B 概ね反映されている C 反映できていない	C	B	B	B	B	B	
④ 施策推進上の課題の捉え方	A 課題の捉え方が的確である B 課題の捉え方に一部不足が見られる C 課題認識ができていない	A	A	B	A	A	A	
⑤ 施策の方向性	A 拡大して実施 B 継続実施 C 縮小して実施 D 抜本的見直し	B	B	A	B	B	B	
施策に対する総合的な評価	<p>指標から捉える限りは達成状況の捉え方は妥当と思われるが、指標では測れない、居室確保支援事業の未達成があり、達成に向けた取り組み手法については再検討の余地がある。</p> <p>相談支援事業の重要性は課題把握としてなされているが、特に相談員の配置については具体的な取組が必要である。</p> <p>市民意識の反映については満足度の低下が見られることや要望・意見から判断して評価した。</p>	<p>事業の内容は施策の目的に沿って順調に進められていると思う。</p>	<p>①相談支援事業では、人材不足の状況の中、各相談員を中心として、きめ細やかで、様々な対応をされていることは、高く評価できます。今後の事業充実に向けての適切な人的確保が望まれる。</p> <p>②緊急時等に備えた支援体制の整備には、人材の確保とともに施設面の充実が必要だと思いますが、例えば、施策推進上の課題には、「居室確保支援事業」の登録事業所数の0という現状については特にふれていませんが、今後の改善の見直しはあるのか？</p>	<p>①在宅系利用者数の実績、一般就労移行率ともに増加していることからAとした。</p> <p>②相談員相談、就労希望を障がい者本人の希望を尊重しての構成と障がい者へ「親亡き後の生活支援等」を考慮して構成はAである。</p> <p>③相關図において、満足度・重要度ともに普通であり、十分とは言えないが反映されているためBとした。</p> <p>④上記②に記載のとおり障がい者を理解できる相談員や就労企業の課題を的確に捉えておりAとした。</p> <p>⑤上記のほか、障がい者の社会生活力向上、緊急時等備えた支援体制整備があるが、当面Bが適当とした。</p>	<p>障がい者の方が就業して親の手から離れ、自立していくことができるように相談・支援・体験できる場づくりを着実に進めてほしい。</p> <p>また、市民から寄せられる要望や意見には、切実な願いとともに、障がい者の方の自立を進展させていく考え方もあるので、具現化できることは前進させていただきたい。</p>			

施策		6：子育て家庭への支援の充実					
評価項目	評価結果 (1つに○)	各委員の評価結果					分科会の評価
		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	
① 主な指標の達成状況	A 順調に進捗している B 概ね順調に進捗している C 遅れている	B	B	A	B	B	B
② 事業の構成に関する評価	A 適切な構成である B 概ね妥当である C 構成に問題がある	A	B	A	B	A	B
③ 市民意識の反映	A 反映されている B 概ね反映されている C 反映できていない	B	B	B	B	B	B
④ 施策推進上の課題の捉え方	A 課題の捉え方が的確である B 課題の捉え方に一部不足が見られる C 課題認識ができていない	A	A	A	A	A	A
⑤ 施策の方向性	A 拡大して実施 B 継続実施 C 縮小して実施 D 抜本的見直し	B	A	A	B	B	A

施策に対する総合的な評価	<p>子育て支援家庭への支援の充実は、多くの子育て家庭が望むところであり、本施策への取組みや事業構成はそれを反映させていると評価できる。</p> <p>しなしながら、指標の設定がやや不十分である。 市民の満足度への対応も課題意識は有するものの、ニーズに十分に答えられているとはいえない。</p> <p>子育て世代包括支援センターが新設されたことは大きな成果だが、今後その質を高めていくことが必要である。</p>	<p>事業の内容は施策の目的に沿って順調に進められていると思う。</p> <p>子どもの問題に悩む親は沢山いるが、なかなか相談できない世の中。</p> <p>ネットで情報を得るだけではなく、親子で気軽に参加できる事業がもっと浸透していくといいと思う。</p>	<p>①子育て家庭への支援における市民のニーズを幅広く捉え、現状の課題も的確に把握しながら対応しているところは、高く評価できる。</p> <p>②市民の多様なニーズも「この伊勢原で今後も子育てをしていきたい」という期待の表れと考えられ、今後の子育て世代包括支援センター事業を中心とした各事業のさらなる推進とその充実が望まれる。</p>	<p>①新型コロナウイルスの影響をまともに受け親子の交流組数は減少せざるを得ない現状であるが、「子育て世代包括支援センター（以下「センター」と記載）」の開設等を加味しBとした。</p> <p>②子育て世代に必要なセンター開設とこれからセンターのレベルアップに向けているところは大いに評価するが、「発達相談」利用後のフォローが弱い感がありBとした。</p> <p>③センター開設以前と、つどいの広場増設以前の意識の反映内容であるところから、調査以後の開設・増設を想定してBとした。</p> <p>④子育ての当事者の求めている支援、悩み相談を的確に捉えているところからAとした。</p> <p>⑤子育て当事者は、妊娠期から出産さらに育児、かつ、発達障害への不安等、各種相談・支援はそれぞれのステップにおいて欠くことのできない重要な施策であるからBとした。</p>	<p>市民の願い、市の体力(財政・職員数等)を踏まえて施策が進められている。</p> <p>今後の伊勢原市を担う子ども達である、子育て支援、成長発達に伴う支援、相談等、子ども達が健やかに成長できるように水準を高めていくことが強く望まれる。</p>
---------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------